

雨と上手につきあおう



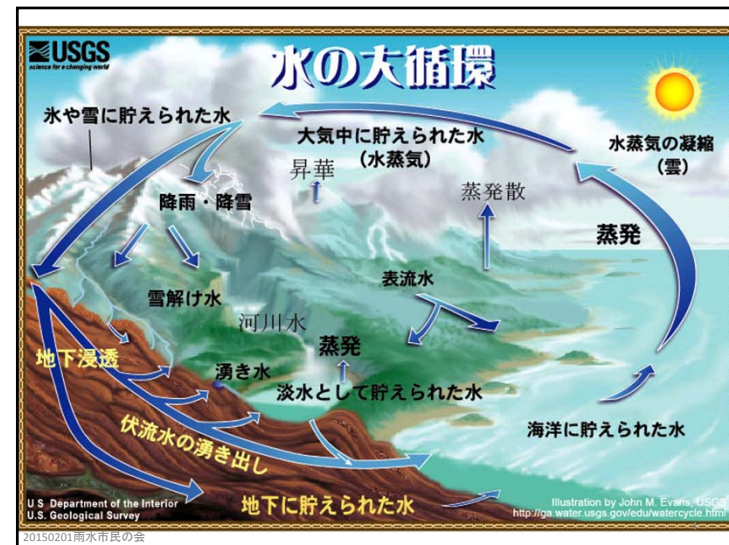
2015.7.31

People for Rainwater
雨水市民の会 笹川みちる

あなたと雨

雨は好きですか？

雨となかよくくらす
「雨活」のまち、すみだ



都会では…？



<http://news.walkerplus.com/2010/0808/2/photo02.html>

地面にしみこまない雨→下水道に流れていく

5



写真：雨水市民の会

洪水になった錦糸町 (1981年)

雨水活用の効果



- ①**水を節約!**：雨は貴重な淡水資源。遠くのダムより、近くの雨水を活かせば、省エネにもつながります。
- ②**洪水防止**：雨を溜めることで、下水や川に一気に流れ込むことを防ぎ、コントロールしながらゆっくり流せます。
- ③**非常時の生活用水**：地震などで水道が止まってしまった時や火災の初期消火に役立ちます。いざという時の飲み水にもなります。

墨田区の雨水利用

- 1982 両国国技館（1985竣工）での雨水利用決定
→大規模施設での雨水利用スタート
- 1988 「路地尊」での雨水利用開始
→区内21カ所
- 1995 雨水タンクへの助成制度開始
- 2008 雨水利用条例化
→敷地面積500㎡を超える住宅開発時の設置義務づけ



8

すみだの雨水活用



まちのあちこちでみかける「天水尊」
= 200%

墨田区の雨水活用スポット

東京スカイツリー (ソラマチ)
2635トン都内最大規模



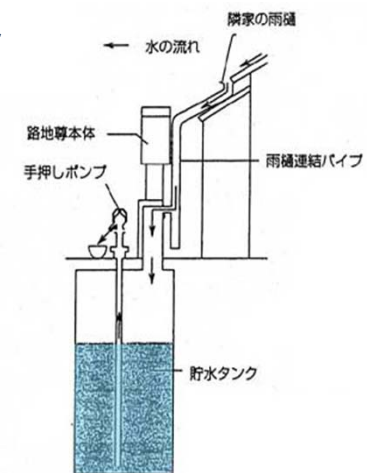
墨田区役所 1000トン



区内に21カ所ある「路地尊」は、コミュニティで雨を貯めて、使うしくみ



路地尊の仕組み



20150201雨水市民の会

12

雨のお寺



真言宗智山派
隅田山 多聞寺
墨田区墨田5-31-3

雨水タンク設置：
1996年秋

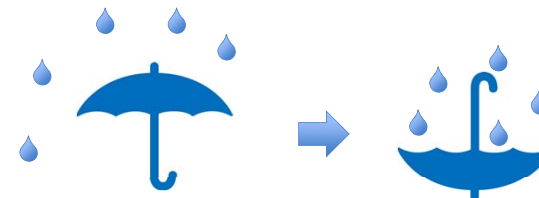
雨水タンク
地上 11トン
地下 10トン



お正月（七福神巡り）やお彼岸・お盆にはタンクが空になることもある。境内の散水は、夏場など2時間ぐらいかかることもあるので、水道代の節約になっている。



都市の中で、水をめぐらせる力をとりもどすために...
「流す」から「たくわえる」へ



貯留 = ためる → 雨水タンク

浸透 = しみこませる → 浸透マス、浸透舗装

すみだ環境ふれあい館での雨水を活かした環境教育



水循環を楽しく理解する「雨つぶぐるぐるすごろく」



雨からのメッセージ



どのくらいの雨が降っている? ①

降雨量＝活用できる雨量の可能性

1500mm

東京には、年間約1,500mmの雨が降る。

年

水量でみると25億トン。

年間の水道使用量20億トンよりも多い。

||

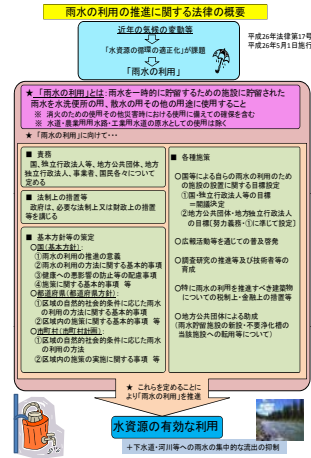
東京

25億t

あまみず 雨水利用の 推進に関する法律

2014年5月施行

- 一時的に貯留された雨水を
トイレ、散水などの用途に使用
する
- 新設する国及び独立行政法
人の施設に導入
- □地方公共団体：方針の策定、
目標の設定



あまみず 雨水利用の推進に関する基本方針

あまみず 雨水利用の推進に関する基本方針

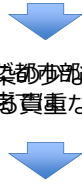
平成27年3月10日
国土交通省告示第311号

本基本方針は、雨水の利用の推進に関する法律（平成26年法律第17号。以下「法」という。）第7条第1項の規定に基づき、雨水の利用の推進の意義に関する事項、雨水の利用の方法に関する基本的な事項、健康への悪影響の防止その他の雨水の利用に際し配慮すべき事項、雨水の利用の推進に関する施策に係る基本的な事項及びその他雨水の利用の推進に関する重要事項を定めるものであり、本基本方針に基づき国及び独立行政法人等（法第2条第2項の法人を定める政令（平成26年政令第172号）に定める法人）は自らの雨水の利用を推進するものとする。

地方公共団体、地方独立行政法人は、本基本方針を参考として、雨水の利用の推進に努めるものとする。また、事業者及び国民は、本基本方針を参考として、自らの雨水の利用に努めるとともに、国又は地方公共団体が実施する雨水の利用の推進に関する施策に協力するよう努めるものとする。

水資源としての雨を活かす

- 雨はだれの頭上にも平等に降る
- 「天然の蒸留水」と呼ばれ、細菌・病原菌による汚染が少ない
- 降水量が減少する地域では、ローテク、
- ローンコストで確保出来る貴重な水資源に「やっかいもの」



私たちが「**少ない水の不便を解消する**」のよう
な**有効な手段をひとつ**

AMAMIZUは「甘」水

井戸水や池の水への塩害が深刻なモレルガンジでは、人々は「雨水は甘い」と言います



東京に降る雨はどうでしょうか？

江戸時代の文献には……
「雨水は成分がよく毒もない。器にとつて薬や茶を煎じるといい。」
貝原益軒「養生訓」より
※養生訓：江戸時代に書かれた健康についての指南書



No more tanks for war. Tanks for peace!

戦争のためのタンク（戦車）ではなく、平和のための雨水タンクを。

